

ごみコミ えべつ

第30号

平成19年12月1日

指定ごみ袋は
1枚からでも
購入できます

収集日当日、**朝9時**までに
ごみステーションに出しましょう。

＊収集時間は、その日の天候やごみの量
などにより変動します。

発行／江別市 〒067-0051 江別市工業町14番地の3

企画・編集、お問い合わせ／環境室減量推進課

TEL 383-4211 FAX 382-7240

ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>

排雪作業の連絡を お願いします

ごみの収集日が、自治会や地域で行う排雪作業
と重なる場合は、ごみを出さないようにご協力を
お願いします。

この冬、排雪作業を実施する自治会や地域の
方は、事前に「排雪作業に伴うごみの収集」に
ついて調整をしますので、ご連絡ください。

問い合わせ 廃棄物対策課 ☎ 383-4217

1月の収集曜日の一部変更 について（お願い）

1月の「資源物」と「危険ごみ」の収集日は、
収集間隔調整のため通常月と異なる設定にしてい
る地区があります。

お間違いのないよう「収集日カレンダー」にて
ご確認ください。

問い合わせ 減量推進課 ☎ 383-4211

10月1日から環境クリーンセンターの長期包括委託がスタートしました

市では、環境クリーンセンター・最終処分場等一連の施設を、平成19年10月1日から平成34年3月31日までの14年6ヵ月の期間、包括的に民間事業者へ運営委託しました。

運営する事業者は「株式会社エコクリーン江別」で、三井造船環境エンジニアリング株式会社など3つの企業からの出資により平成19年8月8日に設立され、施設の運営管理を全面的に行っています。

なお、環境クリーンセンターには市職員が引き続き5名が常駐し、事業者の運営管理が適切に行われているかを厳しくチェックしています。

お知らせ

環境クリーンセンターでは、10月1日から
日曜日も家庭ごみの直接搬入を受入れています。

受入れ時間は、午前は9時から正午、午後は
1時から5時まで。

1月は、1日から3日までお休みです。

環境クリーンセンター



問い合わせ 環境クリーンセンター ☎ 391-0422

集団資源回収などのリサイクルが進んでいます

平成16年10月から始まった家庭ごみの有料化から3年が経過しましたが、平成18年度の燃やせるごみと燃やせないごみの収集量は、下の図のとおり有料化前の平成15年度を100として比較すると、それぞれ71と68になり大幅な減量となっています。

平成17年度との比較では、収集量全体が増加していますが、これは燃やせないごみ等が微増となっているほか、自治会などが行っている集団資源回収が増加したことなどによるものです。

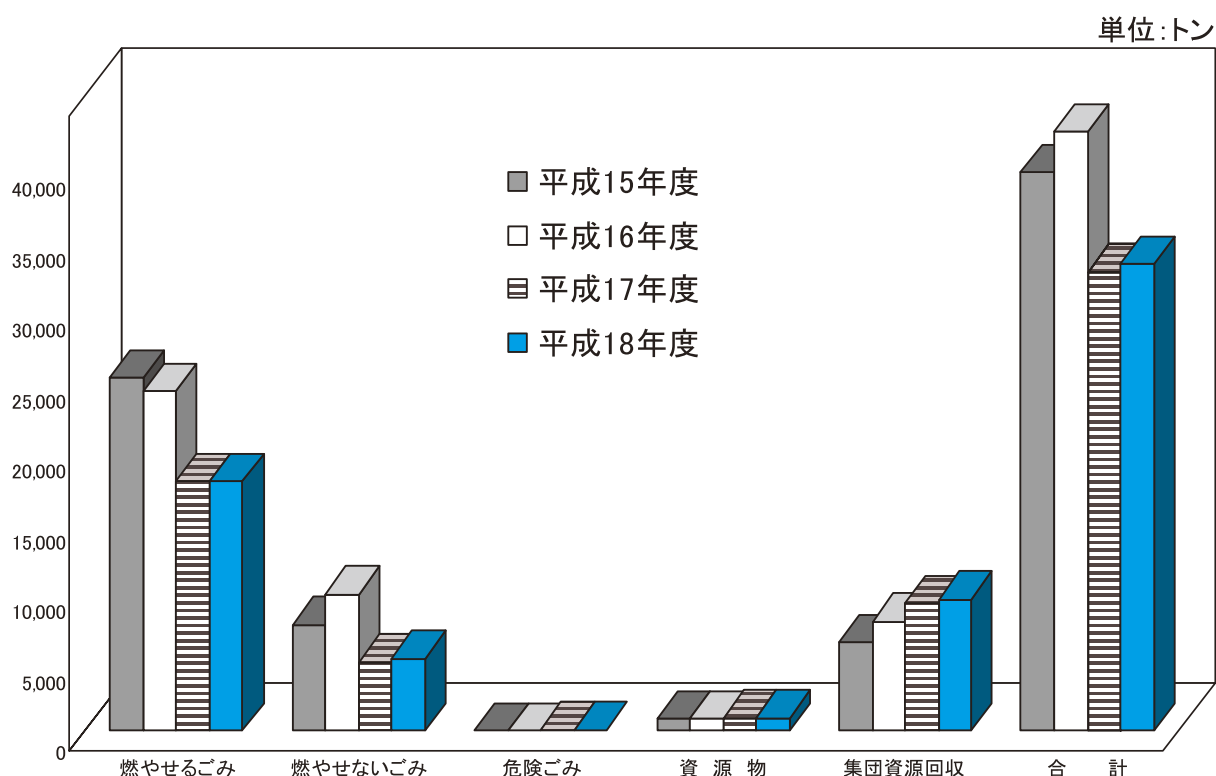
引き続きごみの減量・リサイクルの推進にご協力をお願いいたします。

○家庭ごみ・資源回収等の収集量の推移

単位:トン

平成	燃やせるごみ	燃やせないごみ	危険ごみ	資源物	集団資源回収	合計
15年度	24,994 (100)	7,505 (100)	—	818 (100)	6,272 (100)	39,589 (100)
16年度	24,087 (96)	9,694 (129)	20	864 (106)	7,779 (124)	42,444 (107)
17年度	17,716 (71)	4,898 (65)	47	901 (110)	9,002 (144)	32,564 (82)
18年度	17,705 (71)	5,105 (68)	49	901 (110)	9,315 (149)	33,075 (84)

()内は、有料化前の平成15年度を100として比較した数値



ポイ捨てが、あなたのきれいな街を汚しています



分別の手引き・収集日カレンダーは公共施設に置いています

ごみ・資源物の「分別の手引き」・「収集日カレンダー」は、下記の施設に置いていますので、必要な方はご利用ください。

配 置 箇 所	住 所	配置カレンダーの地区種類
江別市役所 本庁 総合案内窓口	高砂町 6	市内 全地区 のカレンダーを置いています
水道庁舎 証明交付係	萩ヶ岡 1-4	この施設の 周辺地区 のカレンダーを置いています
野幌鉄南地区 証明交付係	東野幌本町 7-4	//
豊幌地区センター 証明交付係	豊幌 686-10	//
大麻出張所	大麻中町 26-4	//
中央公民館(コミュニティセンター)	3条5丁目 11	//
野幌公民館	野幌町 13-6	//
大麻公民館(えぼあホール)	大麻中町 26-7	//
江別市区画整理記念会館	朝日町 11-12	//
野幌鉄南地区センター	東野幌本町 62-1	//
大麻西地区センター	大麻沢町 26-2	//
文京台地区センター	文京台 7-4	//
大麻東地区センター	大麻東町 13-11	//
江別元町地区センター	元町 1-2	//

問い合わせ 減量推進課 ☎ 383-4211

リサイクルバンクのご利用を

◆使える不用品を無料で回収します

不用になった家具、電化製品、スポーツ用品、ベビー用品などで、修理・補修等をしないでそのまま再利用可能な物を、リサイクルバンクにご提供ください。

無料で回収し、希望する市民の方に再利用していただいています。

◆回収できないもの、取り扱わないもの

電気・ガス・石油を使用する品物は、安全のため品目別に製造日からの経過年数の基準を設けています。

また、次のような品物も、お取り扱いできません。

- ①ピアノ、エレクトーンなど重量のあるもの
- ②ミシンや編み機など再利用が見込めないもの
- ③大型家具類などで、搬出の際に壁や建具などを傷つけるおそれがあるものや容易に搬出できないもの
- ④特殊作業工具など再利用する方が限られるもの
- ⑤汚れや傷などが目立つもの、修理・補修・調整などが必要なもの、使用済みの食器類・寝具類など

◆開館時間

毎週月曜日、水曜日、木曜日、金曜日（祝日を除く）の午前 10 時～12 時、午後 1 時～4 時の間で開館します。

職員が常駐していませんので、あらかじめ下記までご連絡ください。



問い合わせ 減量推進課 ☎ 383-4211

ダンボール式生ごみ堆肥化の冬期間の上手な使い方

◆ダンボール箱による

堆肥化の特徴

- ①電気や動力を使わず、混ぜるだけの省エネ型。
- ②誰でも簡単に取り組める。
- ③室内でできるため1年間を通じて使用可能。
- ④生ごみを減らし、堆肥として利用できる。
- ⑤入手しやすい安価な材料でできる。



●生ごみ堆肥ができるまで

- ・生ごみ(1日約 500g～600g)を入れてよくかき混ぜる。
- ・徐々に温度が上がっていきます(最初の 10 日間くらいは温度が上がリません)。
- ・微生物の働きによって生ごみが分解されていきます。
- ・約3ヶ月くらいで微生物は満腹状態になり、分解能力が落ちます。
- ・終了後は、1～2ヶ月寝かせてから堆肥として土に混ぜて使えます。

●堆肥化のポイント

- ・生ごみの分解は微生物の働きによるものなのでよくかき混ぜる。
- ・乾燥気味の時は水分を補給する。
- ・生ごみは出来るだけ細かくする。
- ・臭いの強いものは避ける。
- ・容器は紙製のため、雨や雪の影響がない場所に設置する。

●冬期間の上手な使い方

冬期間は、微生物が働く環境を整えるために温度管理(15度位)が必要です。
※極端に温度が低いところ(物置や車庫など)は適しませんが、空気が通り易い大きめのダンボールや毛布などで覆うことで、適温を保つことができます。

◆有効に活用します

集合住宅等に居住の方で、電気式生ごみ処理機やダンボール箱を使ってできた堆肥の使い道にお困りの方は、環境事務所で活用させていただきますので、お問い合わせください。

ダンボールモニターご希望の方は、ダンボールキット一式を提供しますので、お申込みください

問い合わせ 減量推進課 ☎ 383-4211

環境事務所の入口が元に戻りました

工栄町の旧ごみ焼却処理場の解体が終わり、跡地に家庭から収集された乾電池や蛍光灯などの危険ごみを一時保管する「危険ごみストックヤード」を整備しました。

工事の期間中、仮設通路などによりご不便をおかけしていましたが、環境事務所(旧清掃事務所)の入口が、元に戻りました。

